

参考資料

平成20年度第3回

(一部抜粋)

東京都周産期医療協議会

日 時 平成20年11月28日(金) 19時から
場 所 東京都庁第一本庁舎33階北N6会議室

【次 第】

1 開 会

2 議 題

- (1) 今後の周産期医療体制について
 - ・母体搬送の受入れについて
 - ・搬送コーディネーターについて
 - ・その他
- (2) その他

3 閉 会

【配布資料】

- 資料 1 平成20年度第3回 東京都周産期医療協議会名簿
- 資料 2 }
- 資料 3 } 岡井会長提供資料
- 資料 4 東京都の周産期の搬送体制について
- 資料 5 周産期搬送システム(搬送先選定の一元化)の取組例
- 資料 6-1 周産期母子医療センターの現況について(厚生労働省調査結果)
- 資料 6-2 周産期母子医療センターにおける合併症妊婦の対応について
(厚生労働省調査結果)
- 資料 7 墨東病院周産期センターにおける12月及び年末年始の当直体制について
(平成20年11月27日・病院経営本部)
- 資料 8 周産期母子医療センターにおける救急搬送患者の円滑な受入れについて

参考資料1 第2回 東京都周産期医療協議会議事録(平成20年11月5日開催)

参考資料2 「迅速・適切な救急医療の確保について」(救急医療対策協議会報告)
(平成20年11月21日)

参考資料3 平成21年度主要事項予算見積概要(抜粋)

平成20年度第3回 東京都周産期医療協議会名簿

 協議会委員 (13名)

	氏 名	所 属 ・ 職	備 考
◎	岡 井 崇	昭和大学医学部教授	産婦人科
○	楠 田 聰	東京女子医科大学母子総合医療センター教授	小児科
	有 馬 正 高	日本重症心身障害学会理事長	小児科
	中 林 正 雄	愛育病院院長	産婦人科
	杉 浦 正 俊	杏林大学医学部准教授	小児科
	林 瑞 成	都立墨東病院周産期センター産科部長	産婦人科
	瀧 川 逸 朗	都立大塚病院小児科部長	小児科
	大 橋 克 洋	東京都医師会理事	
	田 中 政 信	日本産婦人科医会常務理事	
	町 田 利 正	東京産婦人科医会会长	
	山 村 節 子	日本助産師会東京都支部支部長	
	伊 藤 博 人	東京消防庁救急部救急医務課長	
	吉 井 栄 一 郎	福祉保健局医療政策部長	

 産科部会長・新生児部会長 (2名)

	氏 名	所 属 ・ 職	備 考
	杉 本 充 弘	日本赤十字社医療センター第一産科部長	産科部会長
	宇 賀 直 樹	東邦大学医学部教授	新生児部会長

 要綱第6条による出席者(7名)

	氏 名	所 属 ・ 職	備 考
	島 崎 修 次	杏林大学医学部教授	救急医療対策協議会会长
	松 田 義 雄	東京女子医科大学母子総合医療センター教授	総合周産期センター代表
	綾 部 琢 哉	帝京大学医学部教授	総合周産期センター代表
	山 本 樹 生	日本大学医学部教授	総合周産期センター代表
	岩 下 光 利	杏林大学医学部教授	総合周産期センター代表
	小 林 剛	都立墨東病院院長	病院経営本部
	宮 澤 豊	都立大塚病院副院長	病院経営本部

東京都周産期医療協議会

<平成20年度第2回協議会のまとめ>

I. 搬送先の選定に時間を要し、患者さんが頭蓋内出血で亡くなられた事例の検討

1. 施設への聞き取り調査

受け入れできなかつた理由（重複あり）

NICU 満床	3 施設
MFICU 満床	2 施設
医師が対応できない状況	2 施設
脳外科医が当直していない	1 施設
感染症対応が不能	1 施設

2. 搬送先選定に時間が掛かる原因

①各ブロック毎に責任施設を決めているが、その施設のベッドが満床等の場合

は他のブロックも含めて受け入れ可能施設を探すシステムになっている。
(他になければ最終的に当責任施設で受け入れる)②総合周産期センターの負担が増しつつあり、充分な機能を果たす余裕のない
状況が日常化している。

- ・分娩を取り扱う施設が減少し、周産期センターの正常分娩が増加
- ・搬送依頼数の増加(ハイリスク症例の増加、軽症例の搬送依頼の増加)
- ・現場の担当医師(当直医)の負担が大きく、疲弊し離脱する者が出ている

③NICU のベッドが不足している。

- ・10年前の見積もりより需要が高まっている
- ・新生児担当医、看護師も不足している

④母体救急受け入れ体制の整備が遅れている。

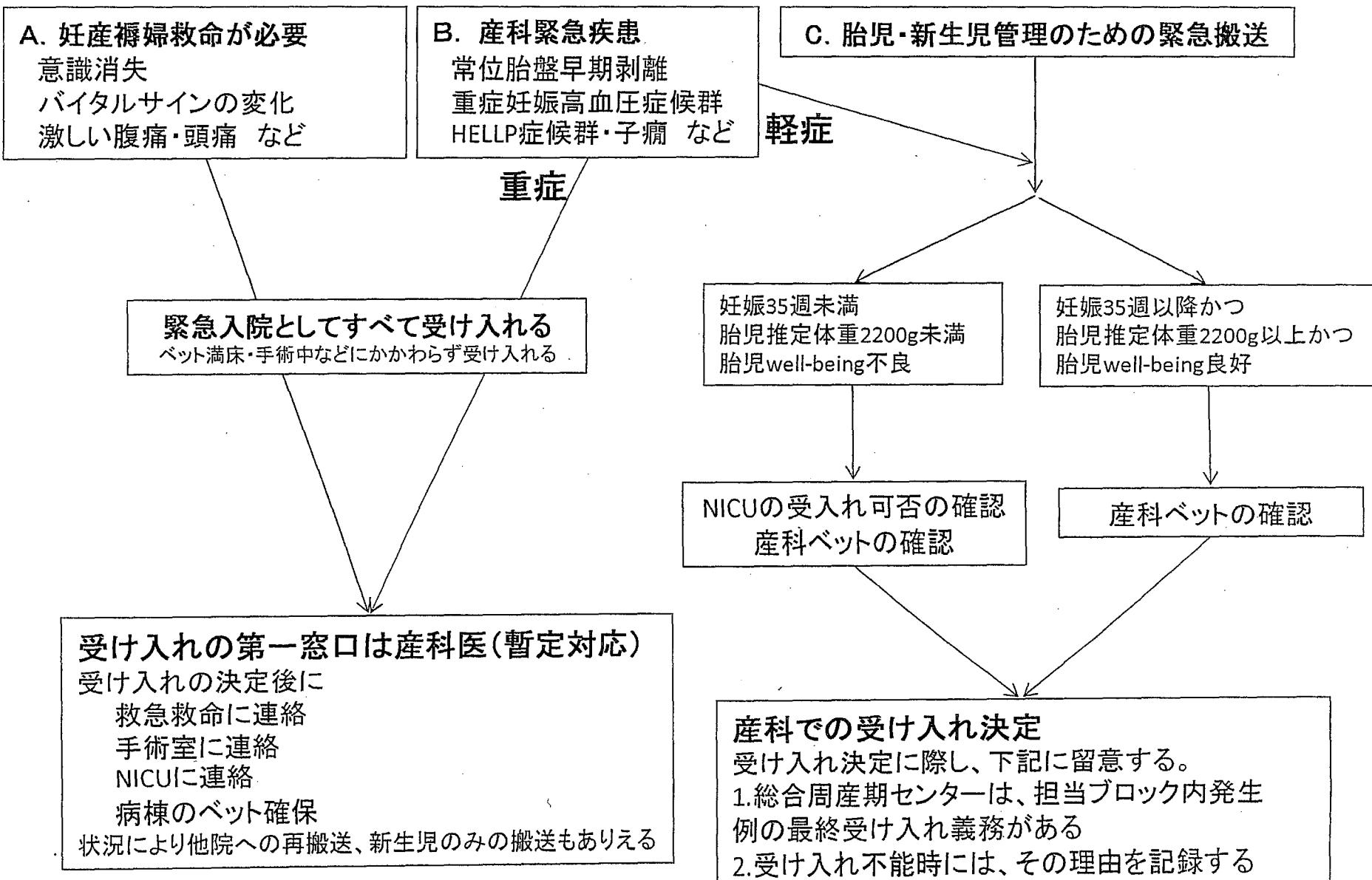
- ・周産期医療体制の整備は搬送事例の 80~90%を占める胎児・新生児救急を中心に行われてきた。
- ・妊婦の救命救急に際しては胎児・新生児の緊急対応も必要であり、産科医、新生児医、救急医、関連各科の医師が揃っていなければならぬが、現状では常時これに対応できる施設は限られる。

<第3回協議会の検討事項>

1. ブロック内完結方式の是非の検討
2. 母体救急と胎児・新生児救急における搬送システムの分別化の検討
3. 情報のセンター化
　搬送コーディネーター、一般救急と周産期救急の情報、正確な患者情報の伝達等
4. ブロック再編成の必要性の検討
　特に多摩ブロックと東部・東北部ブロックの強化について
5. 搬送先選定に時間を要した事例の報告制度の検討
6. 協議会決定事項の地域への周知の徹底策の検討

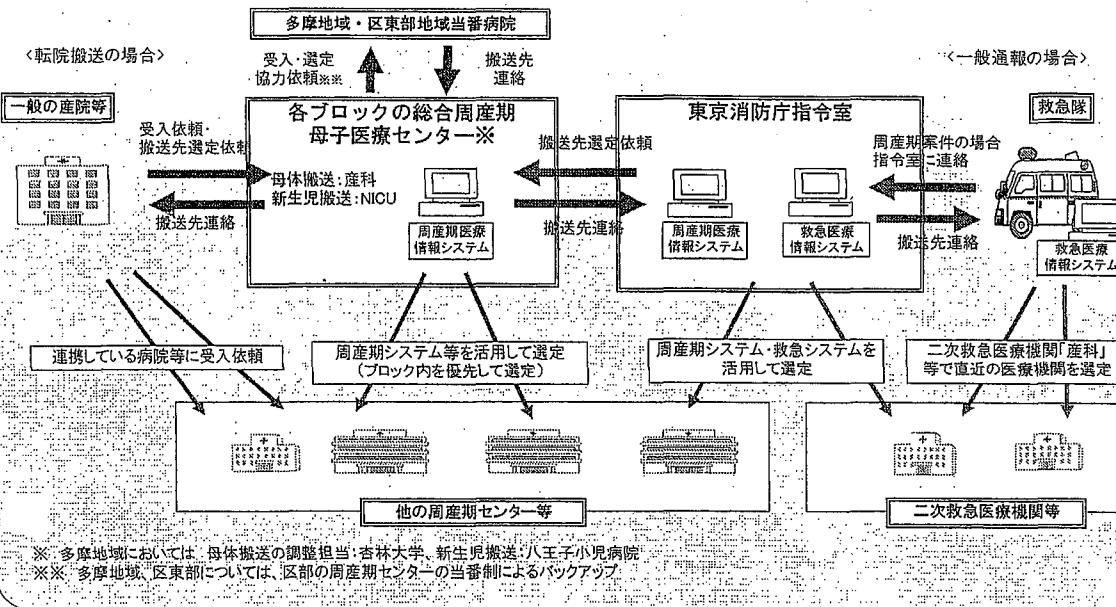
母体搬送依頼についての受け入れの判断基準(案)

岡井会長提供資料



東京都の周産期の搬送体制について

現行の東京都の周産期の搬送先選定方法（概要）



【現行の搬送ブロック】

ブロック	担当区域	搬送先調整担当
区南部	品川区、大田区	東邦大大森 昭和大学
区中央部	千代田区、中央区、港区、文京区、台東区	愛育病院
区東北部	荒川区、足立区、葛飾区	帝京大学（所在地は板橋区（区西北部））
区西北部	豊島区、北区、板橋区、練馬区	日大板橋
区東部	墨田区、江東区、江戸川区	墨東病院
区西部	新宿区、中野区、杉並区	女子医大
区西南部	目黒区、世田谷区、渋谷区	日赤医療センター
多摩	市町村部	杏林大学（母体） 八王子小児*（新生児） * 地域周産期センター ※区部の総合周産期センターが当番制で受け入れ・選定に協力

※ 一般通報＝傷病者の発生地

転院搬送＝搬送元医療機関所在地

現行の緊急搬送ルール（概要）

◎搬送先調整担当

各ブロックの総合周産期センター。総合周産期センターが存在しない区東北部は、区西北部の帝京大学が調整担当。多摩地域の新生児搬送は、八王子小児病院

◎搬送先選定の流れ

①一般通報

- 要請を受けた東京消防庁は搬送先調整担当に搬送先の調整を依頼し、又は、東京消防庁設置の端末を使用し、下記の選定方法により搬送先を検討する。
- 依頼を受けた搬送先調整担当は、下記の選定方法により搬送先の選定を行う。

②転院搬送

- 搬送依頼を受けた周産期センターは、自院で受け入れできない場合、空床のある他のセンターを紹介する。その際、搬送元医療機関の所在するブロック内の周産期センターを優先して紹介する。
- それでもなお搬送先が決まらない場合は、搬送先調整担当に調整を依頼する。
- 依頼を受けた搬送先調整担当は、下記の選定方法により搬送先の選定を行う。

◎選定方法

- 搬送元の医療機関が所在するブロック内の周産期センターを優先して選定を行う。
- ブロック内に空床がない場合、他ブロックの周産期センターに依頼する。
- それでもなお搬送先が決まらない場合は、搬送先調整担当が責任をもって対処する。
- 多摩地域においては、ブロック内で対応が困難な場合は、区部の当番病院（総合周産期センターの当番制）に受け入れ・選定の応援を要請する。

周産期搬送システム(搬送先選定の一元化)の取組例
(各自治体担当者への電話による聞き取り)

	神奈川県	大阪府	千葉県	札幌市
導入時期	H19.4.20～試行 H19.11.1～本格実施	H19.11.26～	H20.6～コーディネーター配置 ※H19.10～母体搬送システム実施	H20.10～試行(年度内)
設置場所	神奈川県救急医療中央情報センター	大阪府立母子保健総合医療センター	亀田総合病院総合周産期母子医療センター(20年度)	札幌市夜間急病センター内
調整担当者の職種等	事務系職員 (オペレーター)	医師 (システム参加病院等のベテラン医師)	医療相談を行う事務職 (ウロギネセンター(骨盤器脱治療)のコーディネーターなどの相談業務経験あり)	助産師等 (患者受入情報オペレーター業務、患者相談窓口業務を実施)
調整担当者の人数	時間帯により2～5名 ※計11名(本事業のため1名増員)	1名 ※約15名の医師の当番制	1名	2名 ※公募等により27名確保
実施時間帯	24時間	夜間・休日(コーディネーター対応) ※それ以外の時間帯は、母子保健総合医療センターの医師が対応	平日9～17時(コーディネーター対応) ※それ以外の時間帯は、病院の当直医師、助産師等が対応	19時～7時
搬送依頼連絡経路	一般分娩施設 ↓ 基幹病院(8病院) ↓ 救急医療中央情報センター (基幹病院の指示のもとオペレーターが選定作業を実施) ※詳細は別紙図参照	一般分娩施設 ↓ 周産期緊急医療システム参加病院(20年1月現在43病院) ↓ 府立母子保健総合医療センター (システム参加病院で受入不可のものについて、センターに連絡。センターの当直医師2名で対応できない場合に、コーディネーターが選定作業を実施) ※詳細は別紙図参照	一般分娩施設 ↓ 二次医療圏内の周産期母子医療センター及び同クラスの機能を持つ病院(15病院) ↓ コントロールセンター(亀田総合病院) (周産期センタークラス病院で受入不可のものについて、コーディネーターが選定作業を実施) ※詳細は別紙図参照	一般医療機関・救急隊・患者(救急相談) ↓ 患者受入情報オペレーター (医療機関・救急隊・患者からの照会に対して、オペレーターが受け入れ可能な病院の情報を提供)
患者情報の伝達方法	分娩施設からの依頼に基づき、基幹病院で調査票(様式別紙)を作成し、救急医療中央情報センターへFAX	電話による聞き取り(母子保健医療センターで受理票を記入)	診療情報提供書をFAX	電話(患者情報のやりとりは、搬送元と搬送先の医師どうしで行う)
一般通報への対応	通常の救急医療中央情報センターの業務として、救急情報システムの産科の応需情報を救急隊・地域情報センター等に提供(直接、県民への対応は行っていない。)	一般通報には対応していない。	一般通報には対応していない。(産科医院等でいつたん受け入れた上で対応)	夜間の救急隊による産婦人科の搬送は、すべてオペレーターに照会することとしている。
救急医療情報システムの参考等	インターネット上の画面で周産期システムと救急システムの両方参照が可能	周産期システムのみ参照	・インターネット上の画面で周産期システムと救急システムの両方参照が可能 ・コーディネーターがシステム上に載らない毎日の詳細応需情報を必要に応じ電話等により確認	・周産期システム、救急医療システムは使用せず以下により応需情報の確認 ・オペレーターが毎日の各医療機関(三次、二次)の応需状況(○、△、×)を電話で確認し、第1優先、第2優先病院を設定 ・各病院の応需情報はFAX・Eメールで医療機関に情報提供(別紙参照)
実施形態	県医師会へ委託	府立母子保健総合医療センターへ委託	20年度は亀田総合病院に委託	市が直接実施
備考(特色等)	・基幹病院の行う搬送調整業務のうち、電話連絡部分をオペレーターが行う。 ・平成19年度実績(19年4月20日～20年3月31日) 照会件数 590件 案内件数 389件 搬送先案内率(案内件数/照会件数) 約66%	・コーディネーターは病院の部長クラスやOBなどを対応件数 19年度(11/26～) 55件 20年度(～9月末) 108件 ※期間中の母子保健総合医療センターの対応件数は計401件	・コーディネーターが周産期医療情報システム上に載らない毎日の詳細応需情報を必要に応じ電話等により確認している。	・オペレーターがあらかじめ当日の各医療機関に応需情報を確認し、受入可能病院を確保 ・H20.10実績 三次病院への紹介件数 2件 二次病院への紹介件数 26件 患者相談件数 181件

【参考】人口動態統計(平成18年)

	神奈川県	大阪府	千葉県	札幌市	東京都
人口(千人)	8,710	8,642	5,999	1,889	12,405
出生数(人)	79,118	77,641	51,762	14,730	101,674

神奈川県

周産期救急受入機関紹介業務について

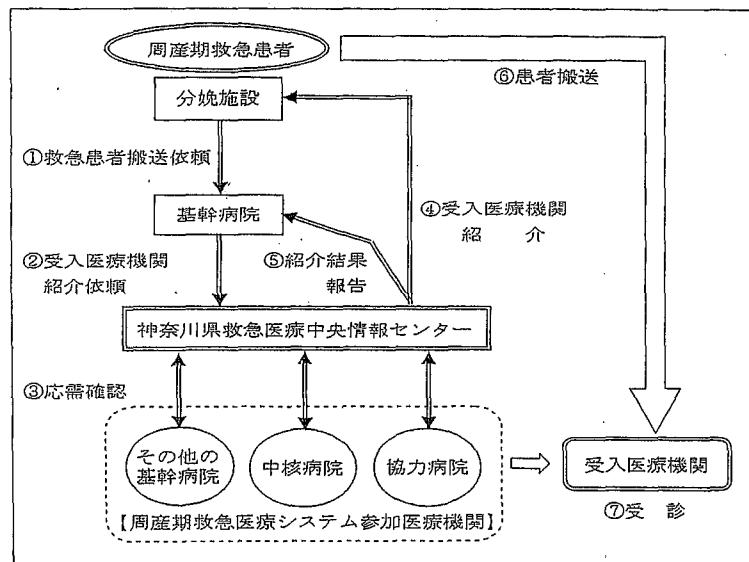
1 目的

周産期救急医療システムにおける基幹病院では、分娩施設からの周産期救急患者を24時間体制で受け入れるとともに、患者の症例に応じた受入先の斡旋業務を行っているが、産科医師の確保が困難な中で、緊急の搬送依頼の急増により、基幹病院の産科医師に多大な負担が生じていることから、県救急医療中央情報センターにおいて、患者の受け入れが可能な医療機関の紹介業務を行うこととし、基幹病院の産科医師の負担を軽減し、周産期救急医療体制の確保を図る。

2 事業内容

分娩施設からの周産期救急患者の搬送依頼について、基幹病院の指示のもと、県救急医療中央情報センターにおいて、周産期救急医療システム参加医療機関に対して応需確認を行い、受入医療機関を紹介するためのオペレーターを新たに確保する。

<事業内容概要図>



(参考)

○ 神奈川県周産期救急医療システム

ハイリスクの妊婦から新生児まで高度な医療水準により一貫した救急医療体制を確保する仕組みとして県内を6ブロックに分けて運用している。医療機関の機能に応じて基幹病院(8病院)、中核病院(12病院)及び協力病院(11病院)が指定されており、基幹病院では24時間体制でブロック内での患者受入の調整を行うとともに、重症例を中心にあらゆる患者を受け入れる体制を確保している。

○ 神奈川県救急医療中央情報センター

24時間体制で消防本部等からの問い合わせに対して、救急患者の搬送が可能な医療機関の案内及び情報提供を実施している機関。

受付No.

周産期救急受入医療機関紹介業務調査票(産科応需用)

救急医療中央情報センター Fax 045-242-6844 (Tel 045-242-2287)

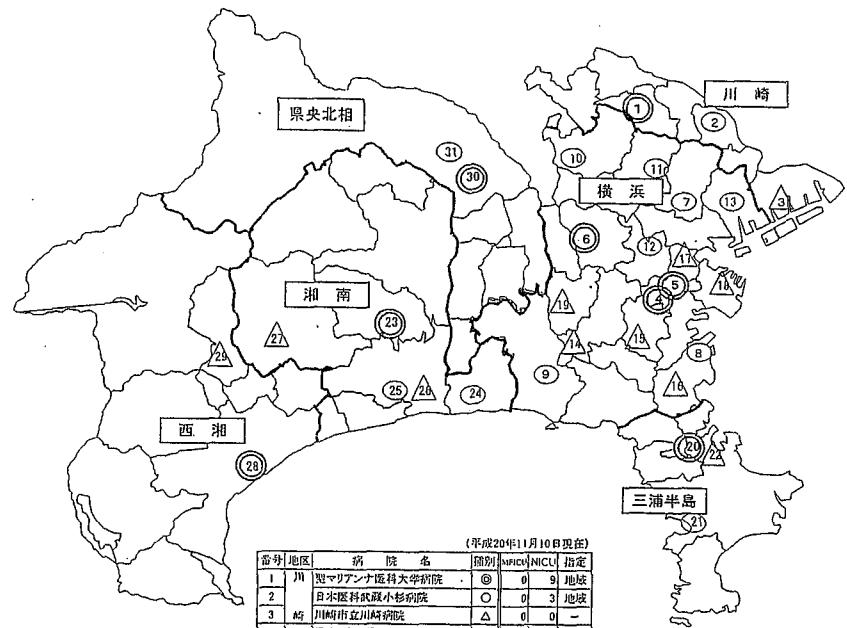
FAX送信日時	年月日()時分	担当医	電話
基幹病院	医療機関名		
依頼医療機関	医療機関名	担当医	電話

診断名	(妊娠週日)	母親	氏名 年月日生
			年齢歳経産回数回

- 1 胎児数 單胎 双胎 双胎以上(児数) 腹性(DD・MD・MM・不明)
- 2 子宮口の状態 開大 cm 展退 %または cm 頸管長 mm 胎胞形成の有無(有・無)その他()
- 3 破水 無・有 日時(月日時) 羊水流出(継続・ほとんど無) 羊水混濁(無・有) 子宮内羊水量(AFI) cm または羊水ポケット cm 不明
- 4 推定児体重 g g g cm cm cm cm cm cm cm cm cm 不明
- 5 胎位 頭位 骨盤位 その他 星多胎の場合はそれぞれの胎位
- 6 現在の治療 塩酸リトドリン 投与量 A × ml/hr マグネシウム製剤 投与量 g/hr その他 ml/hr
- 7 子宮収縮 規則的 不規則 分毎 分每 分每
- 8 胎心拍 異常なし 異常あり モニター所見 ①早発一過性徐脈 ②遅発一過性徐脈 ③変動一過性徐脈 ④基線細変動消失
- 9 脊髄動脈血流所見 ①異常なし ②中大脳動脈血流との逆転 ③途絶 ④逆流
- 10 母体データ 発熱 無・有(℃) WBC /ul CRP mg/dl 血圧 /
- 11 母体合併症 無・有 喘息(妊娠)高血圧症(妊娠)糖尿病前回帝王切開 子宮手術既往精神科疾患感染症その他()

12 その他の情報

周産期救急医療システム参加病院一覧



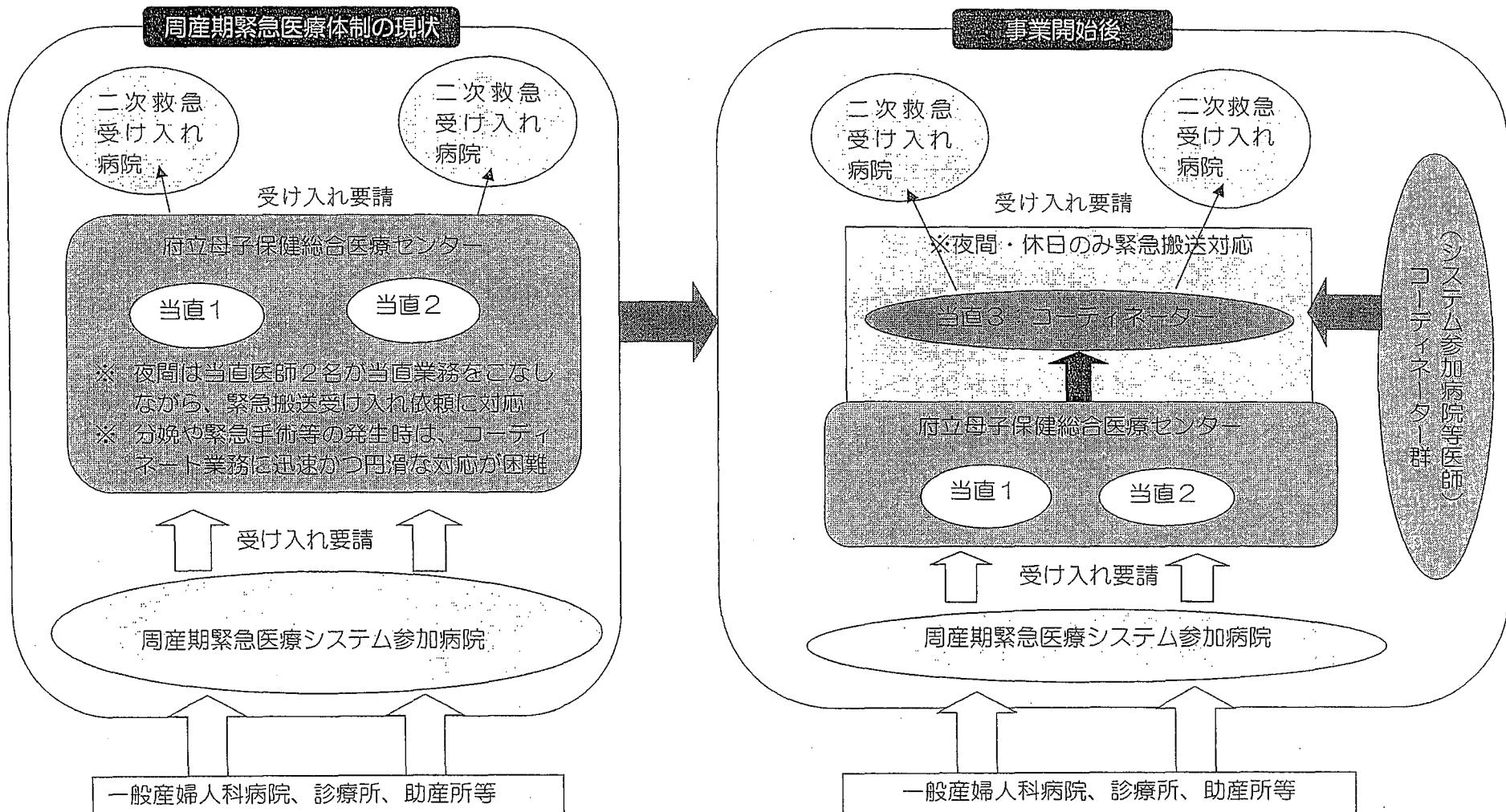
(平成20年11月10日現在)

番号	地区	病院名	病別	NICU	指定
1	川	型マリソナ近畿大学病院	◎	0	9 地域
2		日本医科大学附属小杉病院	○	0	3 地域
3	崎	川崎市立川崎病院	△	0	0
4		県立こども医療センター	◎	6	21 挑合
5		横浜市大田区総合医療センター	◎	6	9 挑合
6		聖マリアンナ横浜市西部病院	◎	0	9 地域
7		横浜労災病院	○	0	9 地域
8		横浜市立赤十字病院	○	0	6 地域
9		横須賀市民病院	○	0	9 地域
10	横	昭和大学藤が丘病院	○	0	0
11		昭和大学横浜市北部病院	○	0	9 地域
12		横浜市立港區病院	○	0	3 地域
13	浜	済生会横浜東部病院	○	0	6 地域
14		横浜市立人間形成外科病院医療センター	△	0	0
15		済生会横浜市南部病院	△	0	0
16		横浜市立共済病院	△	0	0
17		子いのち病院	△	0	0
18		国際親善総合病院	△	0	0
19		横浜市立みなと赤十字病院	△	0	0
20	三	横須賀共済病院	◎	0	9 地域
21	半	横須賀市立市民病院	○	0	0
22	島	横須賀市立うわまち病院	△	0	0
23		東海大学医学部付属病院	◎	9	12 挑合
24	湘	湘ヶ崎市民病院	○	0	0
25		平塚市民病院	○	0	0
26	南	平塚共済病院	△	0	0
27		秦野赤十字病院	△	0	0
28	西	小山原市立病院	◎	0	6 地域
29	神	県立尼崎上野院	△	0	0
30	北	北里大学病院	◎	6	18 挑合
31	相	社会保険印根野病院	○	0	11 地域
計		27	149		

◎:基幹病院 (8) 挑合:総合周産期母子医療センター(4)
○:小規模病院 (12) 地域:地域周産期母子医療センター(12)
△:協力病院 (11)

※ ブロック別一覧	
ブロック名	市町村
川崎	川崎市
	高津市
横浜	横浜市
	磯子区
三浦半島	三浦市
	葉山町
	葉ヶ崎市
	平冢市
	大庭町
	二宮町
	鎌倉市
	伊勢原市
	厚木市
	愛川町
	清川村
	大和市
	逗子市
	綾瀬市
	座间市
	大庭町
	相模原市
	小田原市
	南足柄市
	山北町
	鋸山町
	中井町
	大井町
	防長町
	箱根町
	湯河原町
	真鶴町
県央北相	
湘南	
中央北相	
西部	

周産期緊急医療体制のコーディネーション



千葉県

千葉県の母体搬送発生時の運用

紹介事例発生(産婦人科、診療所、協力病院)

2次医療圏内の地域周産期センタークラス施設^{注1)}へ連絡して下さい^{注2)}

受入不可

受入可能

千葉県母体搬送コントロールセンター(090-2478-0883)へ連絡して下さい^{注3)}

コーディネータが受入可能施設の照会を行います。決定した受入施設を母体搬送発生病院へ通知しますので、搬送受入病院へ連絡し、手続きを進めて下さい。

データ収集についてのお願い

1) 搬送元施設は周産期患者診療情報提供書兼母体搬送報告書を作成し、診療情報提供書として患者とともに搬送先病院へ持参させてください。また、必ずコピーを取り自院のカルテに保存するとともに、同報告書を千葉県周産期ネットワーク事業コーディネータ(FAX: 04-7099-2367)にファックスで報告してください。県外搬送でも報告をお願い致します。

2) 搬送受入施設では、周産期患者診療情報提供書兼母体搬送報告書をカルテに保管し、到着時および退院時(分娩・転院・退院)に、受入病院記入欄を記入し、千葉県周産期ネットワーク事業コーディネータにファックスで報告してください。搬送元病院より提供書が送られてこなかった場合には、氏名、生年月日などの個人を特定できる内容は記載せずに報告書をFAXして下さい。

3) この内容については月報として報告いたし、県内の情報を皆様に提供するとともに今後の運営に役立てまいりますのでご協力お願いいたします。

注1) 周産期センタークラス病院一覧参照

注2) 日常診療で良好な連携がとれていれば2次医療圏内に限りません。

注3) 周産期センタークラス病院が連絡不可能な場合には直接ご連絡下さい。

平成20年10月1日より運用する

FAX 04-7099-2367 千葉県周産期搬送コントロールセンター 電話:090-2478-0883 2008年7月28日改訂

周産期診療情報提供書 兼 母体搬送発生報告書

年 月 日

紹介先施設 _____ 担当医師 _____

紹介元施設 _____ 担当医師 _____

施設所在地 千葉県 _____ 市 _____ 電話番号 _____

依頼日時 200 年 月 日 時 分

患者氏名 _____ 年齢 _____ 才 生年月日 S・H 年 月 日

患者住所 _____ 電話番号 _____

妊娠週数 _____ 週 _____ 日 分娩予定日 200 年 月 日 初産・経産()回

診断 切迫早産・前期破水・前置胎盤・妊娠高血圧症候群・胎児機能不全

現病歴

子宮収縮(なし・あり) 性器出血(なし・あり) 母体合併症(なし・あり) _____

破水(なし・あり: 月 日 時 分) 母体感染症(なし・あり) _____

頸管所見: 頸管長 cm 使用薬剤(なし・あり) _____

児推定体重: g 胎位: 頭位・骨盤位・横位

胎児心拍モニタリング所見(異常なし・あり) _____

患者受入時報告記入欄

入院時診断 _____

到着日時 200 年 月 日 時 分

搬送方法 救急車・ドクターへリ・消防防災へリ(市)・自家用車・その他()

患者経過最終報告記入欄

最終診断 _____

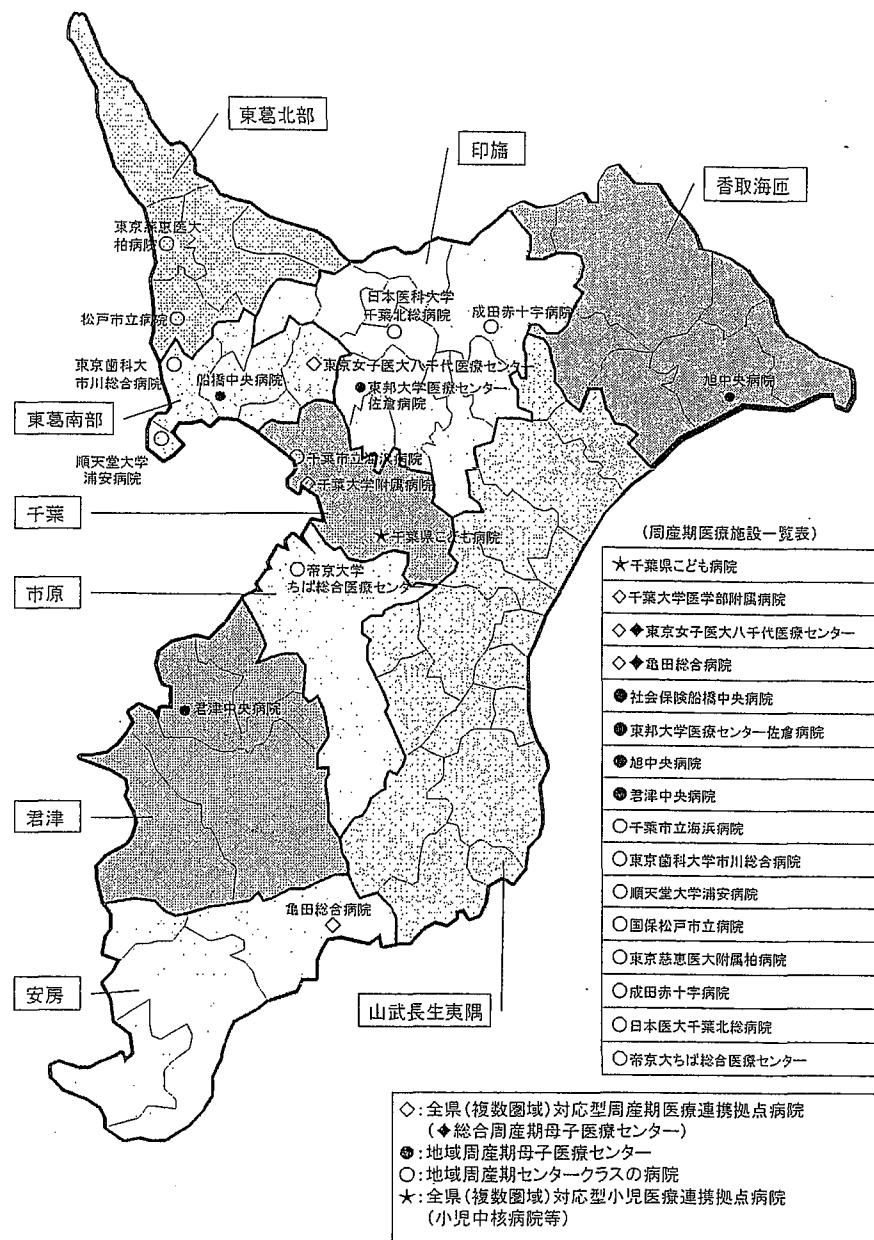
転帰 □分娩 月 日(在胎 週 日) 出生体重 g

新生児 □当院管理 □新生児搬送(月 日) 病院へ 詳細: _____

□退院 月 日 □搬送元病院へ転院(□入院 □外来) □当院外来へ

□他院へ再搬送 月 日 (詳細: _____)

【 千葉県内の周産期母子医療センター及び同クラスの病院 】



〔対策2〕患者受け入れ情報オペレーターの配置、患者相談窓口の設置

(事業目的) 産婦人科疾患に関して、市民からの相談に対応するとともに、治療が必要な患者の搬送先を短時間で選択することにより、適切な医療を迅速に提供する。

(事業内容) ① 患者受け入れ情報オペレーター業務

二次、三次医療機関からの当日の患者受け入れ可否情報を定期的に収集・集約しておき、救急隊や医療機関等から照会があった際に、受け入れが可能な医療機関の情報を提供する。

② 患者相談窓口業務

専用回線により、産婦人科疾患を中心とした市民からの相談に対応する。相談内容に応じて、助言・指導、受診勧奨、情報提供、または病院選定のうえ搬送手配などを行う。

(実施方法) ① 試行期間は20年10月～21年3月の6か月間とする。

② 1か月ごとに短期検証を行う。

③ 担当者として助産師又は看護師を置くが、3か月の検証結果に基づき、必要に応じて産婦人科医師を配置して試行を継続し、双方の結果を比較する。

※ 助産師又は看護師のみを配置する体制を先行的に試行する根拠

現在の夜間急病センターでは、看護師が全診療科にわたる電話相談に対応していることから、次の段階として助産師等による産婦人科のみの相談対応を想定し、さらに次の段階として医師の配置による対応も想定することにより、段階的にそれぞれの効果を検証することが合理的と判断した。(医師の配置の必要性を検証する場合、医師を先行して配置すれば、その状態が基本となって助産師等のみ配置の検証にバイアスを生じる懸念がある。また、医療においては特に常に費用対効果を検証する必要があり、この試行案はそれらについても検証するのに有効である。)

11月 [] 日 ()

医療機関名	NICU 受入	産科 受入	更新時間	直接入力欄
三次救急医療機関				
[] 病院	○	○	18 時 00 分	●本日の産科第1優先病院 19時～翌朝7時
[] 病院	×	△	18 時 03 分	●本日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 平日 17時から翌朝9時 ●明日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 平日 17時から翌朝9時
[] 病院	×	△	18 時 05 分	
[] 病院	×	—	18 時 08 分	
準三次救急医療機関				
[] 病院	×	×	17 時 55 分	●明日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 平日 9時から17時
[] 病院	×	×	17 時 57 分	

なお、本日の情報オペレーターは、



が担当いたします。

11月 [] 日 ()

医療機関名	NICU相 当受入	産婦人 科受入	更新時間	直接入力欄
二次救急医療機関				
[] 病院 (拠点病院)	—	○	18 時 09 分	●本日の拠点病院 平日 17時～翌朝9時 ●明日の拠点病院 平日 17時～翌朝9時
[] 病院 (当番病院)	—	—	□ 時 □ 分	
[] 病院 (当番病院)	—	—	□ 時 □ 分	
[] 病院 (当番病院)	—	○	18 時 12 分	●本日の当番病院 17時～翌朝9時 ●本日の未受診妊婦受入病院(24週未満及び36週以上) 平日 17時から翌朝9時
[] 病院 (当番病院)	—	—	□ 時 □ 分	
[] 病院 (当番病院) ※婦人科のみ	—	—	□ 時 □ 分	

なお、本日の情報オペレーターは、



が担当いたします。

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
日本赤十字社	葛飾赤十字病院	東京都 葛飾区 立石 5-11-12

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	113床(うち一般病床 113床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0床	65床	9	床	39床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	85	一 件	○ 搬送受入の要請のあった件数及び搬送受入できなかった件数については、不明。
搬送を受入れた件数(件)	82	100件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	30件	18件	()内は県外からの搬送数(再掲)
	(件)	(件)	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 0件】	【 0件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	5件	1件
	②:地域周産期母子医療センター	5件	2件
	③:①、②以外の病院	68件	53件
	診療所	0件	件
	助産所	0件	0件
	その他／不明	(自宅) 4件	(自宅) 44件
搬送受入ができなかった件数(件)	3件	一 件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	3件	一 件	
②MFICUが満床であったため。	0件	一 件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0件	一 件	
④その他	0件	一 件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

*該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	2人	0人	0人	
非常勤医師	1.36人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
非常勤医師	0.1人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

※速報値のため、精査の過程で
データが一部修正される可能性が
あることに留意願います。

周産期母子医療センターの現況について

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会	愛育病院	東京都港区南麻布5丁目6番8号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	118 床(うち一般病床 118 床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標準診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターかー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
病床数等	<input type="checkbox"/> NICU <input type="checkbox"/> MFICU	<input type="checkbox"/> NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU) <input type="checkbox"/> MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	<input type="checkbox"/> 一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)		
病床数(床)	9床	6床	26床	59床	0床
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	9床	6床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	3,206日	1,571日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	19日	4日	
最大入院期間(日)	193日	37日	
病床利用率(%)	97.60%	71.74%	*病床利用率= $\frac{\text{平均入院患者数} \times 100}{\text{病床数}}$ 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	173人	469人	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)	17件	208件	
搬送を受入れた件数(件)	15件	77件	()内は県外からの搬送数
	(2 件)	(5 件)	()内はドクターカーによる搬送数
	(0 件)	(0 件)	()内はドクターヘリによる搬送数
	[0 件]	[0 件]	[]内はドクターヘリによる搬送数
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	件	2件	
②:地域周産期母子医療センター	件	5件	
③:①、②以外の病院	15件	46件	
診療所	件	17件	
助産所	件	件	
その他／不明	件	7件	
搬送受入ができなかつた件数(件)	2件	131件	
理由			(④その他) 1 産科以外の合併症に対する専門診療科がないため 2 母体の全身状態が極めて不良で、当院は救命科がないため 3 他の搬送先が見つかったため
①NICUが満床であったため	2件	111件	
②MFICUが満床であったため	0件	5件	
③診療可能な医師がいなかったため	0件	0件	
④その他	0件	15件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。*後期研修医はレジデントとして記載している。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	7人	0人	0人	
非常勤医師	0人	03人	1.4人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	2人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

※速報値のため、精査の過程で
データが一部修正される可能性が
あることに留意願います。

団体名(開設者)	病院名	所在地
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会	愛育病院	東京都港区南麻布5丁目6番8号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	118 床(うち一般病床 118 床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標準診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他() 				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台)				
病床数等	①NICU 9床	②MFICU 6床	③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU) 26床	④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室) 59床	⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床) 0床
病床数(床)					
うち診療報酬上の総合周産期待定集中治療室告白料の届出病床数(床)	9床	6床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	3,206日	1,571日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	19日	4日	
最大入院期間(日)	193日	37日	
病床利用率(%)	97.60%	71.74%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	173人	469人	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)		17件	208件	
搬送を受入れた件数(件)		15件	77件	()内は県外からの搬送数
	(2 件)	(5 件)	()内はドクターカーによる搬送数	()内はドクターヘリによる搬送数
	(0 件)	(0 件)	()内はドクターカーによる搬送数	()内はドクターヘリによる搬送数
	[0 件]	[0 件]		
搬送元	①:総合周産期母子医療センター	件	2件	
内訳	②:地域周産期母子医療センター	件	5件	
	③:①、②以外の病院	15件	46件	
	診療所	件	17件	
	助産所	件	件	
	その他／不明	件	7件	
搬送受入ができなかった件数(件)		2件	131件	
理由				(「④その他」の詳細) 1 産科以外の合併症に対する専門診療科がないため 2 母体の全身状態が極めて不良で、当院は救命科がないため 3 他の搬送先が見つかったため
①NICUが満床であったため		2件	111件	
②MFICUが満床であったため		0件	5件	
③診療可能な医師がいなかったため		0件	0件	
④その他		0件	15件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。*後期研修医はレジデントとして記載している。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	7人	0人	0人	
非常勤医師	0人	03人	1.4人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間ににつき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	2人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 東京女子医科大学 理事長 吉岡 博光	東京女子医科大学病院	東京都新宿区河田町8番1号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,423床(うち一般病床 1,358床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、麻酔科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input type="checkbox"/> 無し				
病床数等	①NICU	②MFICU	③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)	④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	(5)一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)
病床数(床)	12 床	9 床	24 床	33 床	0 床
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	12 床	9 床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	4,057 日	2,515 日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	26.2 日	5.6 日	
最大入院期間(日)	93 日	88 日	
病床利用率(%)	92%	76%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい。
年間利用実人員(人)	176 人	424 人	

3. 救急搬送について（平成19年度実績）

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない ()内は県外からの搬送数 < >内はドクターカーによる搬送数 []内はドクターヘリによる搬送数
搬送受入の要請のあった件数(件)		33 件	344 件	
搬送を受入れた件数(件)		26 件	126 件	
	(0 件)	(0 件)	()内は県外からの搬送数	
	(0 件)	(0 件)	< >内はドクターカーによる搬送数	
	[0 件]	[0 件]	[]内はドクターヘリによる搬送数	
搬送元	①:総合周産期母子医療センター	0 件	2 件	
内訳	②:地域周産期母子医療センター	0 件	7 件	
	③:①、②以外の病院	24 件	109 件	
診療所		0 件	0 件	
助産所		0 件	0 件	
その他／不明		2 件	8 件	
搬送受入ができなかった件数(件)		7 件	218 件	
理由				
①NICUが満床であったため		7 件	218 件	
②MFICUが満床であったため		0 件	0 件	
③診療可能な医師がいなかったため		0 件	0 件	
④その他		0 件	0 件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況（平成20年10月29日現在または把握可能な直近の日付）

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	10 人	10 人	10 人	
研修医・レジデントの数	2 人	3 人	3 人	
非常勤医師	0 人	0 人	0 人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	7 人	1 人		
研修医・レジデントの数	0 人	0 人		
非常勤医師	0 人	0 人		
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3 人	1~2 人		
土曜日の昼間	3 人	1~2 人		
土曜日の夜間	3 人	1~2 人		
日曜日の昼間	3 人	1~2 人		
日曜日の夜間	3 人	1~2 人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 昭和大学	昭和大学病院	東京都品川区旗の台一丁目5番8号

1 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	853 床(うち一般病床 853 床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input checked="" type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 病理診断科 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査科 <input checked="" type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(代謝内科、内分泌内科、腫瘍内科、精神科、肛門外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、泌尿器科、性病科、放射線診断科、放射線治療科、歯科)				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(1 台) うち新生児専用車両(0 台) <input type="checkbox"/> 無し				
病床数等	<input type="checkbox"/> NICU <small>①NICU</small>	<input type="checkbox"/> MFICU <small>②MFICU</small>	<small>③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)</small>	<small>④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)</small>	<small>(5)一般的の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)</small>
病床数(床)	9床	6床	23床	0床	75床(婦人科含む)
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室告理料の届出病床数(床)	9床	6床			

2 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	3198日	1704日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	20.9日	12.0日	
最大入院期間(日)	90日	70日	
病床利用率(%)	97.10%	77.60%	※病床利用率=一日平均入院患者数 × 100 ÷ 病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	153人	142人	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)	24件	232件	
搬送を受入れた件数(件)	24件	62件	()内は県外からの搬送数
	(2件)	(12件)	()内はドクターカーによる搬送数
	(0件)	(0件)	()内はドクターヘリによる搬送数
	【 0件】	【 0件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	1件	4件	
②:地域周産期母子医療センター	3件	1件	
③:①、②以外の病院	19件	52件	
診療所	0件	0件	
助産所	0件	0件	
その他／不明	1件	5件	
搬送受入ができなかった件数(件)	0件	170件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため	0件	69件	NICUおよびMFICUが満床であったため
②MFICUが満床であったため	0件	25件	
③診療可能な医師がいなかったため	0件	0件	
④その他	0件	76件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	13人	0人	17人	
研修医・レジデントの数	2人	0人	2人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	8人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	2人	0人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
非常勤医師	0人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3人	1人		
土曜日の昼間	3人	1人		
土曜日の夜間	3人	1人		
日曜日の昼間	3人	1人		
日曜日の夜間	3人	1人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 東邦大学 理事長 伊藤 元博	東邦大学医療センター大森病院	東京都大田区大森西6-11-1

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1021床(うち一般病床 985床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input type="checkbox"/> 無し				
病床数等	<input checked="" type="checkbox"/> NICU <input type="checkbox"/> MFICU	<input checked="" type="checkbox"/> NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU) <input checked="" type="checkbox"/> MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)		
病床数(床)	12床	9床	24床	42床	床
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	12床	9床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	4392日	3294日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	日	日	
最大入院期間(日)	日	日	
病床利用率(%)	93%	81%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	117人	179人	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)		57件	277件	
搬送を受入れた件数(件)		40件	73件	()内は県外からの搬送数
		(件)	(件)	()内はドクターカーによる搬送数
		(件)	(件)	()内はドクターヘリによる搬送数
		(件)	(件)	()内はドクターヘリによる搬送数
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	1件	0件	
	②:地域周産期母子医療センター	0件	1件	
	③:①、②以外の病院	37件	67件	
	診療所	0件	0件	
	助産所	0件	0件	
	その他／不明	2件	5件	
搬送受入ができなかった件数(件)		17件	204件	
理由		(「④その他」の詳細) 概ね、NICU満床による		
①NICUが満床であったため	件	件		
②MFICUが満床であったため	件	件		
③診療可能な医師がいなかったため	件	件		
④その他	件	件		

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	12人	0人	12人	
研修医・レジデントの数	10人	0人	10人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、當勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人		
研修医・レジデントの数	0人	0人		
非常勤医師	1人	0人		
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3人	1~2人		
土曜日の昼間	3人	1~2人		
土曜日の夜間	3人	1~2人		
日曜日の昼間	3人	1~2人		
日曜日の夜間	3人	1~2人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
日本赤十字社 社長 近衛忠輝	日本赤十字社医療センター	東京都渋谷区広尾4-1-22

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	733床(うち一般病床733床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input checked="" type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(精神科、呼吸器外科、乳腺外科、消化器外科、産科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
病床数等	<input checked="" type="checkbox"/> NICU ①NICU	<input checked="" type="checkbox"/> MFICU ②MFICU	<input checked="" type="checkbox"/> NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU) ③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)	<input checked="" type="checkbox"/> MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室) ④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床) ⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)
病床数(床)	12床	6床	40床	0床	100床
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	12床	6床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	4380日	2190日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	17.0日	8.4日	
最大入院期間(日)	90日	14日	
病床利用率(%)	98.60%	86.40%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい。
年間利用実人員(人)	260人	230人	

3. 救急搬送について（平成19年度実績）

	新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)	195件	362件	
搬送を受入れた件数(件)	137件	185件	()内は県外からの搬送数
	(件)	(11件)	()内はドクターカーによる搬送数
	(0件)	(0件)	()内はドクターヘリによる搬送数
	[0件]	[0件]	[]内はドクターヘリによる搬送数
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	23件	9件
	②:地域周産期母子医療センター	18件	7件
	③:①、②以外の病院		
	診療所	94件	158件
	助産所		
その他／不明	2件	11件	
搬送受入ができなかった件数(件)	58件	177件	
理由			(「④その他」の詳細) 注)NICU及びMFICUについては、搬送の受け入れができない理由として、病床が満床の場合がほとんどです。また、医師が他の症例を対応中の場合もありますが、いくつかの要因が重なりその時、その状況において搬送が受け入れられない場合があります。つきましては、明確な数値を割り振ることが困難なことから、左記の記載といたします。但し、当センターは診療可能な医師がない理由で、搬送が受け入れられることはございません。
①NICUが満床であったため	58件	0件	
②MFICUが満床であったため	0件	177件	
③診療可能な医師がいなかったため	0件	0件	
④その他	0件	0件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況（平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付）

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	11人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	12人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	1人	0人	0人	
非常勤医師	人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3人	1人		
土曜日の昼間	3人	1人		
土曜日の夜間	3人	1人		
日曜日の昼間	3人	1人		
日曜日の夜間	3人	1人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人	帝京大学医学部附属病院	東京都板橋区加賀2-11-1

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,154床(うち一般病床1,107床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。
標準診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神神経科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、救命救急センター、形成外科、心療内科)	
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない	
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し	
ドクターかー保有の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(1台) うち新生児専用車両(0台) <input type="checkbox"/> 無し	
病床数等	<input checked="" type="checkbox"/> NICU <input checked="" type="checkbox"/> MFICU <small>③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)</small> <small>④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)</small>	<small>⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)</small>
病床数(床)	12 10	24 20 10
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	12 10	

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	4269日	2544日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	21.6日	8.8日	
最大入院期間(日)	365日	109日	
病床利用率(%)	97.70%	70.00%	※病床利用率=一日平均入院患者数 × 100 ÷ 病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	198人	289人	

3. 救急搬送について（平成19年度実績）

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)		45件	438件	
搬送を受入れた件数(件)	35件	123件		
	(0件)	(16件)	()内は県外からの搬送数	
	(0件)	(0件)	()内はドクターカーによる搬送数	
	【 0件】	【 0件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数	
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	1件	5件	
	②:地域周産期母子医療センター	0件	3件	
	③:①、②以外の病院	件	件	
	診療所	32 件	104 件	
	助産所	件	件	
その他／不明		2件	11件	
搬送受入ができなかつた件数(件)		10件	315件	
理由				
①NICUが満床であったため	9件	288件	(「④その他」の詳細)手術室使用中により手術不可のため 2件、精神神経科との併診不可 2件、救命救急センター満床 1件、無痛分娩を希望 1件、週数が20週未満 2件、入院患者(即入院)の処置中 1件	
②MFICUが満床であったため	0件	19件		
③診療可能な医師がいなかつたため	0件	0件		
④その他	1件	8件		

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況（平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付）

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	9人	1人	10人		
研修医・レジデントの数	2人	2人	0人		
非常勤医師	0人	1人	0人		
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。		
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)		
研修医・レジデントの数	1人	0人			
非常勤医師	0人	0人			
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)			
平日の夜間	2~3人	1人			
土曜日の昼間	2~3人	午後12時までは6人、午後12以降1人			
土曜日の夜間	2~3人	1人			
日曜日の昼間	2~3人	1人			
日曜日の夜間	2~3人	1人			

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人日本大学	日本大学医学部附属板橋病院	東京都板橋区大谷口上町30番1号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,037 床(うち一般病床 982 床) ※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。
標準診療科名	■内科 ■呼吸器内科 ■循環器内科 □消化器内科 □腎臓内科 ■神経内科 □糖尿病内科 ■血液内科 ■皮膚科 □アレルギー科 □リウマチ科 □感染症内科 □小児科 ■外科 □心臓血管外科 ■脳神経外科 ■整形外科 ■小児外科 ■産婦人科 ■放射線科 ■麻酔科 ■病理診断科 □臨床検査科 ■救急科 ■その他(脊髄・内分泌内科、糖尿病・代謝内科、消化器・肝臓内科、心療内科、漢方内科、小児内科、新生児内科、精神科、消化器外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、リハビリテーション科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、疼痛緩和外科、歯科口腔外科)
救急救命センターの指定状況	■指定されている □指定されていない
ドクターヘリ保有の有無	□有り(1 台) ■無し
ドクターカー保有の有無	■有り(1 台) うち新生児専用車両(0 台) □無し
病床数等	①NICU ②MFICU ③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU) ④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室) ⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)
病床数(床) うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	12床 9床 24床 43床 0床 12床 9床

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	3,901日	1,841日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	23.5日	4.7日	
最大入院期間(日)	366日	62日	
病床利用率(%)	89.17%	55.56%	※病床利用率=一日平均入院日数 × 100 ÷ 病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	179人	389人	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)	82件	180件	
搬送を受入れた件数(件)	50件	46件	()内は県外からの搬送数
	(件(不明))	(件(不明))	()内はドクターカーによる搬送数
	(0件)	(0件)	()内はドクターヘリによる搬送数
	[0件]	[0件]	[]内はドクターヘリによる搬送数
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	4件	1件
	②:地域周産期母子医療センター	4件	2件
	③:①、②以外の病院	40件	43件
	診療所	件(不明)	件(不明)
	助産所	件(不明)	件(不明)
	その他／不明	2件	件(不明)
搬送受入ができなかつた件数(件)	32件	134件	*この行は一般の病産院(助産院を含む)の数字です。
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため	32件	114件	
②MFICUが満床であったため	0件	19件	
③診療可能な医師がいなかったため	0件	0件	
④その他	0件	1件	

4. 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	9人	9人	11人	
研修医・レジデントの数	1~3人	1~3人	1~3人	
非常勤医師	0人	1人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	10人	3人		
研修医・レジデントの数	0人	0人		
非常勤医師	2人	0人		
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3人(他オンコール1人)	1人(他オンコール1人)		
土曜日の昼間	3人(他オンコール1人)	1人(他オンコール1人)		
土曜日の夜間	3人(他オンコール1人)	1人(他オンコール1人)		
日曜日の昼間	3人(他オンコール1人)	1人(他オンコール1人)		
日曜日の夜間	3人(他オンコール1人)	1人(他オンコール1人)		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
	杏林大学医学部付属病院	東京都三鷹市新川6丁目20番2号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,153床(うち一般病床 1,121床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標準診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器科 <input checked="" type="checkbox"/> 精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 形成外科 <input checked="" type="checkbox"/> 泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 <input checked="" type="checkbox"/> 歯科口腔外科 <input checked="" type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input checked="" type="checkbox"/> 美容外科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器科 <input checked="" type="checkbox"/> 産科 <input checked="" type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(1 台) うち新生児専用車両(0 台) <input type="checkbox"/> 無し				
病床数等	<input checked="" type="checkbox"/> ①NICU <input type="checkbox"/> ②MFICU	<input type="checkbox"/> ③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)	<input type="checkbox"/> ④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	<input type="checkbox"/> ⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)	
病床数(床)	15床	12床	24床	24床	0床
うち診療報酬上の総合周産期特定集中治療室管理料の届出病床数(床)	15床	12床			

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	5,489日	3,957日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	26.0日	6.7日	
最大入院期間(日)	363日	77日	
病床利用率(%)	99.98%	90.09%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	212人	591人	

3 救急搬送について(平成19年度実績)

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産兒は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)		66件	349件	
搬送を受入れた件数(件)		26件	102件	()内は県外からの搬送数
()内はドクターカーによる搬送数		(0 件)	(1 件)	()内はドクターカーによる搬送数
< 3 件 >		< 0 件 >	< 0 件 >	< 0 件 >
【 0 件】		【 0 件】	【 0 件】	【 0 件】内はドクターヘリによる搬送数
搬 送 元 内 訳	①:総合周産期母子医療センター	0件	1件	
	②:地域周産期母子医療センター	2件	0件	
	③:①、②以外の病院	23件	91件	
	診療所	0件	件	
	助産所	0件	件	
	その他／不明	1件	10件	→ 自宅より
搬送受入ができなかつた件数(件)		40件	247件	
理 由				(「④その他」の詳細) 外来へ紹介してもらう(2件) 近くの対応可能な病院を紹介(6件) 連絡があつたがその後自院で見ると連絡あり(2件) 連絡があつたが他院にきまる(5件) *母体の①と②は重複あります
①NICUが満床であったため		37件	188件	
②MFICUが満床であったため		0件	42件	
③診療可能な医師がいなかったため		3件	3件	
④その他		0件	15件	

4 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に間与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	5人	
研修医・レジデントの数	2人	0人	2人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	7人	0人	6人	※非常勤医師については、當勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
研修医・レジデントの数	0人	6人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	2人		
土曜日の昼間	2人	2人		
土曜日の夜間	2人	2人		
日曜日の昼間	2人	2人		
日曜日の夜間	2人	2人		

【様式1】

総合周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
東京都	東京都立墨東病院	東京都墨田区江東橋4-23-15

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	729床(うち一般病床689床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標準診療科名	■内科 □呼吸器内科 ■循環器内科 □消化器内科 □腎臓内科 □神経内科 □糖尿病内科 □血液内科 ■皮膚科 □アレルギー科 ■リウマチ科 □感染症内科 ■小児科 ■外科 ■心臓血管外科 ■脳神経外科 ■整形外科 □小児外科 ■産婦人科 ■放射線科 ■麻酔科 □病理診断科 □臨床検査科 □救急科 ■その他(精神科、泌尿器科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科)				
救急救命センターの指定状況	■指定されている □指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	□有り(台) ■無し				
ドクターカー保有の有無	□有り(台) うち新生児専用車両(台)				
病床数等	①NICU	②MFICU	③NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)	④MFICUに併設された産科の回復期治療室(後方病室)	⑤一般の産科病床(②、④を除く院内の産科病床)
病床数(床)	12床	9床	33床	床	10床
うち診療報酬上の総合周産期待定集中治療室管理料の届出病床数(床)	0床	0床			

↑新生児特定集中治療室管理料 12床

2. 総合周産期母子医療センターの病床稼働状況(平成19年度実績)

病床	NICU	MFICU	
年間延利用日数(日)	4,359日	2,074日	※「年間延利用日数」欄は、開設日数-未利用日数ではなく、ベッド毎の年間延利用日数の合計を記入すること。
平均入院期間(日)	21.8日	10.1日	※平均入院期間=年間延利用日数÷年間利用人員
最大入院期間(日)	90日	14日	
病床利用率(%)	99.20%	63.00%	※病床利用率=一日平均入院患者数×100÷病床数 100%を超える場合はそのまま記載し、100%止まりで集計する場合はその旨を記載して下さい
年間利用実人員(人)	200人	206人	

3 救急搬送について(平成19年度実績)

		新生児	母体	※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない
搬送受入の要請のあった件数(件)		158件	394件	
搬送を受入れた件数(件)	110件	201件	()内は県外からの搬送数	()内はドクターカーによる搬送数 【】内はドクターヘリによる搬送数
	(10件)	(12件)	()内はドクターカーによる搬送数	
	〈 件〉	〈 件〉	〈 〉内はドクターカーによる搬送数	
	【 件】	【 件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数	
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	2件	2件	(「④その他」の詳細) 新生児 ・先天性疾患(1例)、脳膜炎(2例)いづれも当院で外科的治療不可のため 母体 ・C/S対応 ・Laparo不可 ・他病院受入可 ・神経科満床 ・ope室満室 ・小児外科症例
	②:地域周産期母子医療センター	1件	13件	
	③:①、②以外の病院	101件	157件	
	診療所	件	件	
	助産所	件	件	
	その他／不明	6件	29件	
搬送受入ができなかった件数(件)		48件	193件	
理由				
①NICUが満床であったため	45件	128件	新生児 ・先天性疾患(1例)、脳膜炎(2例)いづれも当院で外科的治療不可のため 母体 ・C/S対応 ・Laparo不可 ・他病院受入可 ・神経科満床 ・ope室満室 ・小児外科症例	
②MFICUが満床であったため	件	8件		
③診療可能な医師がいなかったため	件	20件		
④その他	3件	37件		

4 総合周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※医師数については、先般緊急にお伺いした内容と重複しますが、再度ご記入をお願いいたします。

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に間与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	4人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	1.6人	0人	0.8人	
非常勤医師	0.8人	0人	0.2人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、當勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	8人	0人	0人	
研修医・レジデントの数	2.4人	0人	0人	
非常勤医師	2.4人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科(MFICU)	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	1~2人	1人		
土曜日の夜間	1人	1人		
日曜日の昼間	1人	1人		
日曜日の夜間	1人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
理事長 日野原重明	財団法人 聖路加国際病院	東京都中央区明石町9-1

1 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	520床(うち一般病床 520床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input checked="" type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input checked="" type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 病理診断科 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査科 <input checked="" type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室 (いわゆるGCU)
病床数(床)	0 床	33 床	6 床	0 床	10 床

2 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	○
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	○
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	○
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	11 件	24 件	
搬送を受入れた件数(件)	11 件	0 件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(件) 0 〔 件〕 0	(件) 0 〔 件〕 0	()内は県外からの搬送数(再掲) 〔 〕内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 件】 0	【 件】 0	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	4 件	11 件
	②:地域周産期母子医療センター	1 件	5 件
	③:①、②以外の病院	1 件	7 件
	診療所	0 件	0 件
	助産所	0 件	0 件
	その他／不明	5 件	1 件
搬送受入ができなかった件数(件)	0 件	24 件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	0 件	10 件	・当院患者他待機のため病床に余裕なし ・分娩費用の同意がなかった ・胎児に心疾患がある場合 ・他院受入可→当院キャンセル
②MFICUが満床であったため。	0 件	0 件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0 件	1 件	
④その他	0 件	13 件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	0 人	4 人	0 人	
常勤の研修医・レジデントの数	0 人	4 人	0 人	
非常勤医師	0 人	0.2 人	0.2 人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、當勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	3 人	8 人		
常勤の研修医・レジデントの数	2 人	5 人		
非常勤医師	0.4 人	1.2 人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	1(他オンコール1名) 人	1 人		
土曜日の昼間	1(他オンコール1名) 人	1 人		
土曜日の夜間	1(他オンコール1名) 人	1 人		
日曜日の昼間	1(他オンコール1名) 人	1 人		
日曜日の夜間	1(他オンコール1名) 人	1 人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 慈恵大学 理事長 栗原 敏	東京慈恵会医科大学附属病院	東京都港区西新橋3-19-18

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,075 床(うち一般病床 1,026 床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	内科、消化器科、神経内科、呼吸器科、循環器科、精神科、小児科、皮膚科、外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、麻酔科、放射線科				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0 床	29 床	9 床	0 床	18 床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	<input checked="" type="radio"/>
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	<input type="radio"/>
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	<input type="radio"/>
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	<input type="radio"/>
・いつから休止しているか:	<input type="radio"/>
・休止の理由:	<input type="radio"/>
・分娩取扱い再開の見込み:	<input type="radio"/>
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	<input type="radio"/>
【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	<input checked="" type="radio"/>
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	<input type="radio"/>
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	<input type="radio"/>
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	<input type="radio"/>
・いつから休止しているか:	<input type="radio"/>
・休止の理由:	<input type="radio"/>
・新生児医療再開の見込み:	<input type="radio"/>
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	<input type="radio"/>

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	40 件	251 件	
搬送を受入れた件数(件)	23 件	63 件	
※「新生児」には母体搬送後の出産兒は含まない	(件)	(件)	()内は県外からの搬送数(再掲) ※地域周産期母子医療センター運営に関する報告書では集計しておりません。
	< 0 件 >	< 0 件 >	< >内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 0 件】	【 0 件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	1 件	4 件
	②:地域周産期母子医療センター	2 件	0 件
	③:①、②以外の病院	20 件	59 件
	診療所	件	件
	助産所	件	件
	その他／不明	0 件	0 件
搬送受入ができなかった件数(件)	件	件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	件	件	
②MFICUが満床であったため。	0 件	0 件	※地域周産期母子医療センター運営に関する報告書では受入れ可否の理由については記録しておりませんので、不明箇所については未回答としております。
③診療可能な医師がいなかったため。	0 件	0 件	
④その他	件	件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	7 人	7 人	21 人	
常勤の研修医・レジデントの数	2 ~ 3 人	2 ~ 3 人	3 ~ 4 人	
非常勤医師	0.5 人	0.5 人	0 人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5 人	0 人		※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤の研修医・レジデントの数	3 人	0 人		
非常勤医師	0 人	0 人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2 人	1 人		
土曜日の昼間	2 人	4 人		
土曜日の夜間	2 人	1 人		
日曜日の昼間	2 人	1 人		
日曜日の夜間	2 人	1 人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 東京医科大学	東京医科大学病院	東京都新宿区西新宿六丁目7番1号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,015床(うち一般病床 988床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他(糖尿病内分泌内科、老年内科、精神科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科、産科、婦人科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0 床	26 床	9 床	0 床	8 床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について（平成19年度実績）

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	92 件	95 件	
搬送を受入れた件数(件)	46 件	57 件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	()件	()件	()内は県外からの搬送数(再掲)
	()件	()件	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 】件	【 】件	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	0 件	件	
②:地域周産期母子医療センター	件	件	
③:①、②以外の病院	45 件	57 件	
診療所	件	件	
助産所	件	件	
その他／不明	1 件	件	
搬送受入ができなかつた件数(件)	46 件	38件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	43 件	37件	
②MFICUが満床であったため。	件	件	
③診療可能な医師がいなかったため。	件	件	
④その他	3件	1件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況（平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付）

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	3人	0人	14人	
常勤の研修医・レジデントの数	1人	0人	3人	
非常勤医師	1人	0人	5人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	1人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤の研修医・レジデントの数	1人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	3人	1人		
土曜日の昼間	3人	4人		
土曜日の夜間	3人	1人		
日曜日の昼間	3人	1人		
日曜日の夜間	3人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 慶應義塾	慶應義塾大学病院	新宿区信濃町35

1. 病院の現況 (平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)					
病床数	1,072 床(うち一般病床 1,036 床) <small>※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。</small>				
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(呼吸器科・循環器科・消化器科・呼吸器外科・形成外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・精神科・歯科・リハビリテーション科・産科・婦人科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<small>①MFICU (診療報酬非加算)</small>	<small>②一般産科病床</small>	<small>③NICU (診療報酬加算対象)</small>	<small>④NICU (診療報酬非加算)</small>	<small>⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室 (いわゆるGCU)</small>
病床数(床)	床	40床	6床	床	
	12床				

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況 (平成19年度実績)		
【産科部門】		
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)		該当部分に○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応		
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない		
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・分娩取扱い再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない		
【新生児部門】		
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)		該当部分に○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている		
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当		
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・新生児医療再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない		

3. 救急搬送について（平成19年度実績）

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	24件	114件	
搬送を受入れた件数(件)	24件	35件	
※「新生児」には母体搬送後の出産は含まない	(　　件)	(　　件)	(　　)内は県外からの搬送数(再掲)
	(　　件)	(　　件)	(　　)内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【　　件】	【　　件】	【　　】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	3件	3件
	②:地域周産期母子医療センター	件	2件
	③:①、②以外の病院	21件	30件
	診療所	件	件
	助産所	件	件
その他／不明	件	件	
搬送受入ができなかった件数(件)	0件	79件	
理由			(「④その他」の詳細)受け入れができなかった正確な内訳件数を把握しておりません。NICU:MFICUの割合がほぼ2:1の割合です。
①NICUが満床であったため。	件	件	
②MFICUが満床であったため。	件	件	
③診療可能な医師がいなかったため。	件	件	
④その他	件	件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況（平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付）

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	10人	0人	5人	
常勤の研修医・レジデントの数	10人	0人	0人	
非常勤医師	2人	0人	3人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	人	人	
常勤の研修医・レジデントの数	4人	人	人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
非常勤医師	0人	人	人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1~3人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
理事長 小川 秀興	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京都 文京区 本郷 3-1-3

1. 病院の現況 (平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	1,020 床(うち一般病床 1,005床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他(別紙参照)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室 (いわゆるGCU)
病床数(床)	床	24 床	6 床	床	22 床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】		該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)		○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応		
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない		
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・分娩取扱い再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない		
【新生児部門】		該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)		○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている		
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当		
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・新生児医療再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない		

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	107 件	122 件	
搬送を受入れた件数(件)	80 件	24 件	
※「新生児」には母体搬送後の出産兒は含まない	(22 件)	(2 件)	()内は県外からの搬送数(再掲)
	(0 件)	(0 件)	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	[0 件]	[1 件]	[]内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	16 件	1 件
	②:地域周産期母子医療センター	15 件	2 件
	③:①、②以外の病院	37 件	19 件
	診療所	12 件	2 件
	助産所	0 件	0 件
	その他／不明	0 件	0 件
搬送受入ができなかった件数(件)	27 件	98 件	
理由			(「④その他」の詳細) 産科病床が満床であったため。
①NICUが満床であったため。	27 件	70 件	
②MFICUが満床であったため。	0 件	0 件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0 件	0 件	
④その他	0 件	28 件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に間与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6 人	0 人	16 人	
常勤の研修医・レジデントの数	2 人	0 人	2 人	
非常勤医師	0 人	0 人	0 人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	3 人	3 人		
常勤の研修医・レジデントの数	0 人	2 人		
非常勤医師	0 人	0 人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2 人	1 人		
土曜日の昼間	2 人	1 人		
土曜日の夜間	2 人	1 人		
日曜日の昼間	2 人	1 人		
日曜日の夜間	2 人	1 人		

順天堂医学部附属順天堂医院

院内標榜診療科名（34科）

総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、
膠原病・リウマチ内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、メンタルクリニック、
脳神経内科、小児科・思春期科、食道・胃外科、大腸・肛門外科、
肝・胆・脾外科、乳腺科、心臓血管外科、呼吸器外科、
小児外科・小児泌尿生殖器外科、脳神経外科、整形外科・スポーツ診療科、
形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸科、放射線科、
産科・婦人科、救急科、麻酔科・ペインクリニック、臨床検査医学科、
病理診断科、歯科口腔外科、健康スポーツ科、リハビリテーション科

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
社会福祉法人 賢育会	賢育会病院	東京都墨田区太平 3-20-2

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	243床(うち一般病床243床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(耳鼻咽喉科・泌尿器科・緩和ケア科・精神科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(<input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(<input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	床	46床	6床	床	20床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】		該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)		○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応		
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない		
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
·いつから休止しているか:		
·休止の理由:		
·分娩取扱い再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない		

【新生児部門】		該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)		○
2 新生児特定集中治療室管理加算加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている		○
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当		
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
·いつから休止しているか:		
·休止の理由:		
·新生児医療再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない		

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	72件	160件	
搬送を受入れた件数(件)	58件	28件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(　　件)	(　　件)	(　)内は県外からの搬送数(再掲)
	(　　件)	(　　件)	(　)内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【　　件】	【　　件】	【　】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	4件	0件	
②:地域周産期母子医療センター	5件	1件	
③:①、②以外の病院			
診療所	49件	22件	
助産所			
その他／不明	0件	5件	
搬送受入ができなかつた件数(件)	14件	132件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	1件	14件	○依頼取り下げ 1件
②MFICUが満床であったため。	件	件	○産科満床 4件
③診療可能な医師がいなかったため。	12件	18件	○記録なし 96件
④その他	1件	100件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。				
【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	人	4人	人	
常勤の研修医・レジデントの数	人	1人	人	
非常勤医師	人	2人	人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	4人	人		
常勤の研修医・レジデントの数	人	人		
非常勤医師	1.5人	人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
学校法人 東京女子医科大学 理 事 長 吉 岡 博 光	東京女子医科大学東医療センター	東京都荒川区西尾久2-1-10

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	486床(うち一般病床 486床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0 床	59 床	6 床	0 床	12 床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】		該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)		○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応		
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない		
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・分娩取扱い再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない		
【新生児部門】		該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)		○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている		
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当		
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・新生児医療再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない		

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	49 件	113 件	
搬送を受入れた件数(件)	33 件	19 件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(2 件) (0 件) (0 件) (0 件)	(0 件) (0 件) (0 件) (0 件)	()内は県外からの搬送数(再掲) ()内はドクターカーによる搬送数(再掲) ()内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター ②:地域周産期母子医療センター ③:①、②以外の病院 診療所 助産所 その他／不明	0 件 1 件 8 件 22 件 件 2 件	1 件 1 件 件 17 件 件 件
搬送受入ができなかった件数(件)	16 件	94 件	
理由			(「④その他」の詳細) * 心疾患合併・外科疾患合併が強く疑われたため (当院では心疾患・外科疾患には対応できない) * 当院で重症児がこれから生まれそうなため * 現にNICU内で重症児がいるため、これ以上の重症児の診察は危険と判断したため * ③に近いが、産科医が緊急手術や他の搬送その他の救急に対応中のため
①NICUが満床であったため。	10 件	64 件	
②NICU産科が満床であったため。	件	24 件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0 件	件	
④その他	6 件	8 件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に間与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	1 人	7 人	2 人	
常勤の研修医・レジデントの数	1 人	1 人	0 人	
非常勤医師	0 人	0 人	0 人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	3 人	0 人		
常勤の研修医・レジデントの数	3 人	0 人		
非常勤医師	0 人	0 人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	(*1) 2 人	1 人		(*1) 月の内、2名当直が出来るのは2／3。 1／3は1名当直で宅直医師がカバーしています。
土曜日の昼間	(*1) 2 人	1 人		
土曜日の夜間	(*1) 2 人	1 人		
日曜日の昼間	原則 2 人	1 人		
日曜日の夜間	原則 2 人	1 人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
日本赤十字社	葛飾赤十字産院	東京都 葛飾区 立石 5-11-12

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	113 床(うち一般病床 113 床)	*一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0床	65床	9	床	39床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	85	100件	
搬送を受入れた件数(件)	82	100件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	30件	18件	()内は県外からの搬送数(再掲)
	(件)	(件)	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 0件】	【 0件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	5件	1件	
②:地域周産期母子医療センター	5件	2件	
③:①、②以外の病院	68件	53件	
診療所	0件	件	
助産所	0件	0件	
その他／不明	(自宅) 4件	(自宅) 44件	
搬送受入ができなかった件数(件)	3件	0件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	3件	0件	
②MFICUが満床であったため。	0件	0件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0件	0件	
④その他	0件	0件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	2人	0人	0人	
非常勤医師	1.36人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	
非常勤医師	0.1人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
東京都	東京都立大塚病院	東京都豊島区南大塚2-8-1

1 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	500床(うち一般病床500床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他(神経科、リハビリ科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input checked="" type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0床	40床	12床	0床	28床

2 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	118件	337件	
搬送を受入れた件数(件)	78件	199件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(　　件)	(　　件)	(　　)内は県外からの搬送数(再掲)
	(　　件)	(　　件)	(　　)内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【　　件】	【　　件】	【　】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	12件	6件
	②:地域周産期母子医療センター	2件	15件
	③:①、②以外の病院	64件	167件
	診療所	0件	0件
	助産所	0件	0件
	その他／不明	0件	11件
搬送受入ができなかつた件数(件)	40件	138件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	件	件	
②MFICUが満床であったため。	件	件	
③診療可能な医師がいなかったため。	件	件	
④その他	件	件	

4 地域周産期医療センターの医師の勤務状況 (平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	3人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	1人	1人	0人	
非常勤医師	1. 7人	0人	1. 4人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	6人	0人		
常勤の研修医・レジデントの数	1人	0人		
非常勤医師	0. 1人	0人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	2人	1人		
土曜日の昼間	2人	1人		
土曜日の夜間	2人	1人		
日曜日の昼間	2人	1人		
日曜日の夜間	2人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
東京都知事 石原 慎太郎	東京都立豊島病院	東京都板橋区栄町33-1

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	348 床(うち一般病床 298 床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他(泌尿器科・眼科・歯科・口腔外科・耳鼻咽喉科・精神科)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(　台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(　台) うち新生児専用車両(　台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	一 床	10 床	一 床	一 床	一 床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	○
・いつから休止しているか:平成18年9月	
・休止の理由:医師確保困難	
・分娩取扱い再開の見込み:平成20年10月よりリスクの高い妊婦を対象に再開	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	○
・いつから休止しているか:平成19年10月	
・休止の理由:医師確保困難	
・新生児医療再開の見込み:未定	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	51 件	件	
搬送を受入れた件数(件)	34 件	件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(件)	(件)	()内は県外からの搬送数(再掲)
	(件)	(件)	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 件】	【 件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター	2 件	件
	②:地域周産期母子医療センター	2 件	件
	③:①、②以外の病院	件	件
	診療所	29 件	件
	助産所	件	件
	その他／不明	1 件	件
搬送受入ができなかつた件数(件)	17 件	件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	件	件	
②MFICUが満床であったため。	件	件	
③診療可能な医師がいなかつたため。	件	件	
④その他	件	件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在より把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	0人	4人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0.8人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	2人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
非常勤医師	当座のみの応援要員として6名程度の医師を確保し、月9~10日(平日)を担当	0人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科	※NICUは休止中であるが、分娩再開による新生児の対応を行っている医師数を記載している。	
平日の夜間	1人	1人		
土曜日の昼間	1人			
土曜日の夜間	1人			
日曜日の昼間	1人			
日曜日の夜間	1人			

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
日本赤十字社	武藏野赤十字病院	東京都武藏野市境南町 1-26-1

1 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	611床(うち一般病床 591床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標準診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input checked="" type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 視覚神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 外科 <input checked="" type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input checked="" type="checkbox"/> 産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他()				
救急救命センターの指定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定されている <input type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	床	46床	6床	床	14床

2 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】		該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)		○
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応		
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない		
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・分娩取扱い再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない		

【新生児部門】		該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)		○
2 新生児特定集中治療室管理加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている		
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当		
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)		
・いつから休止しているか:		
・休止の理由:		
・新生児医療再開の見込み:		
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない		

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	50件	107件	
搬送を受入れた件数(件)	36件	45件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(　　件)	(　　件)	(　)内は県外からの搬送数(再掲)
	(　　件)	(　　件)	(　)内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【　　件】	【　　件】	【　】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元内訳			
①:総合周産期母子医療センター	件	3件	
②:地域周産期母子医療センター	件	2件	
③:①、②以外の病院	35件	36件	
診療所	件	件	
助産所	件	件	
その他／不明	1件	4件	
搬送受入ができなかつた件数(件)	14件	62件	
理由			(「④その他」の詳細) 手術室の使用不可(他科緊急手術など)
①NICUが満床であったため。	14件	39件	
②MFICUが満床であったため。	件	件	
③診療可能な医師がいなかったため。	件	3件	
④その他	件	20件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	12人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	4人	0人	※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人		
非常勤医師	0人	0人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	1人	1人		
土曜日の昼間	1人	1人		
土曜日の夜間	1人	1人		
日曜日の昼間	1人	1人		
日曜日の夜間	1人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
東京都	東京都立清瀬小児病院	東京都清瀬市梅園一丁目3番1号

1. 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)					
病床数	255床(うち一般病床 217床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	<input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> その他(耳鼻咽喉科、眼科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科、矯正歯科、心療内科、)				
救急救命センターの指定状況	<input type="checkbox"/> 指定されている <input checked="" type="checkbox"/> 指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
ドクターカー保有の有無	<input type="checkbox"/> 有り(台) うち新生児専用車両(台) <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
【周産期医療に係る病床数等】	<input type="checkbox"/> ①MFICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ②一般産科病床	<input type="checkbox"/> ③NICU (診療報酬加算対象)	<input type="checkbox"/> ④NICU (診療報酬非加算)	<input type="checkbox"/> ⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	床	床	6床	床	18床

2. 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)			
【産科部門】			
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象) 2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応 3 産科診療を行っているが、正常分娩を中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない 4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと) ・いつから休止しているか: ・休止の理由: ・分娩取扱い再開の見込み: 5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない			該当部分に○
			○
【新生児部門】			該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象) 2 新生児特定集中治療室管理加算加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている 3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当 4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと) ・いつから休止しているか: ・休止の理由: ・新生児医療再開の見込み: 5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない			○

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあつた件数(件)	333件	件	
搬送を受入れた件数(件)	285件	件	
※「新生児」には母体搬送後の出産兒は含まない	(106 件)	(件)	()内は県外からの搬送数(再掲)
	(0 件)	(件)	()内はドクターカーによる搬送数(再掲)
	【 0 件】	【 件】	【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)
搬送元証	①:総合周産期母子医療センター	1件	件
	②:地域周産期母子医療センター	7件	件
	③:①、②以外の病院	277件	件
	診療所	件	件
	助産所	件	件
	その他／不明	件	件
搬送受入ができなかつた件数(件)	46件	件	
理由			(「④その他」の詳細)
①NICUが満床であったため。	(46)件	件	
②MFICUが満床であったため。	(0)件	件	
③診療可能な医師がいなかったため。	(0)件	件	
④その他	(0)件	件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	0人	0人	0人	0人
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	0人
非常勤医師	0人	0人	0人	0人
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医	※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。 ※非常勤医師については、常勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)	
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	5人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	1人	0人	0人	
非常勤医師	0.2人	0人	0人	
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	0人	1人		
土曜日の昼間	0人	1人		
土曜日の夜間	0人	1人		
日曜日の昼間	0人	1人		
日曜日の夜間	0人	1人		

【様式2】

地域周産期母子医療センター(各病院ごとに作成すること)

団体名(開設者)	病院名	所在地
東京都	東京都立八王子小児病院	東京都八王子市台町4-33-13

1 病院の現況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

病床数	90床(うち一般病床90床)	※一般病床とは、精神病床、感染症病床、結核病床を除いた病床を指します。			
標榜診療科名	□内科 □呼吸器内科 □循環器内科 □消化器内科 □腎臓内科 □神経内科 □糖尿病内科 □血液内科 □皮膚科 □アレルギー科 □リウマチ科 □感染症内科 ■小児科 □外科 ■心臓血管外科 □脳神経外科 □整形外科 ■小児外科 □産婦人科 □放射線科 ■麻酔科 □病理診断科 □臨床検査科 □救急科 ■その他(形成外科)				
救命救急センターの指定状況	□指定されている ■指定されていない				
ドクターヘリ保有の有無	□有り(1台) ■無し				
ドクターカー保有の有無	■有り(1台)うち新生児専用車両(1台) □無し				
【周産期医療に係る病床数等】	①MFICU (診療報酬非加算)	②一般産科病床	③NICU (診療報酬加算対象)	④NICU (診療報酬非加算)	⑤NICUに併設された新生児の回復期治療室(いわゆるGCU)
病床数(床)	0床	0床	9床	0床	24床

2 地域周産期母子医療センターの運用状況(平成19年度実績)

【産科部門】	該当部分に○
1 ハイリスク妊娠に対応している(ハイリスク妊娠管理加算の対象)	
2 ハイリスク妊娠管理加算の対象ではないが、ハイリスク妊娠に対応	
3 産科診療を行っているが、正常分娩が中心であり、ハイリスク妊娠は原則として対応していない	
4 現在、産科診療(分娩)の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・分娩取扱い再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から産科を標榜していない	○

【新生児部門】	該当部分に○
1 ハイリスク新生児に対応している(新生児特定集中治療室管理加算の対象)	○
2 新生児特定集中治療室管理加算加算の対象とはならないが、新生児科専任医師が勤務しており、ハイリスク新生児への対応を行っている	
3 新生児科専任医師は勤務していないが、常勤の小児科医又は産科医が新生児医療を担当	
4 現在、新生児医療の取扱いを休止中(下記項目について記載のこと)	
・いつから休止しているか:	
・休止の理由:	
・新生児医療再開の見込み:	
5 地域周産期センター認定時から新生児医療を取り扱っていない	

3. 救急搬送について(平成19年度実績)

	新生児	母体	
搬送受入の要請のあった件数(件)	465件	0件	注)双胎児は1件としてカウントしている。
搬送を受入れた件数(件)	287件	0件	
※「新生児」には母体搬送後の出産児は含まない	(3件) (0件) ()内は県外からの搬送数(再掲)		
	(< 254件) (0件) ()内はドクターカーによる搬送数(再掲)		
	【 0件 】 【 0件 】 【 】内はドクターヘリによる搬送数(再掲)		
搬送元内訳	①:総合周産期母子医療センター ②:地域周産期母子医療センター ③:①、②以外の病院 診療所 助産所 その他／不明	4件 2件 } 件 279件 } 件 2件	0件 0件 0件 0件 0件
搬送受入ができなかった件数(件)	178件	0件	注)病院、診療所、助産所の区分ごとに集計していない。 注)2件とも自宅からの搬送
理由			(「④その他」の詳細) 理由の全てを、一応①にしたが、ドクターカーで往診した結果、比較的軽症の児は地域の準NICU等を持つ病院に入院をお願いし、当院はハイリスク対応のために空けておく場合がある。この数は未集計である。
①NICUが満床であったため。	178件	0件	
②MFICUが満床であったため。	0件	0件	
③診療可能な医師がいなかったため。	0件	0件	
④その他	0件	0件	

4. 地域周産期医療センターの医師の勤務状況(平成20年10月28日現在または把握可能な直近の日付)

※該当者なしの場合は、空欄とせず、0人と記入してください。

【産科部門の医師数】	①周産期センター(産科)の専任医師	② ①以外で日中、産科診療(分娩)に従事する産科・産婦人科医師	③ 日勤帯は分娩に従事しないが、当直や緊急時に分娩に関与する医師	※③については、例えば、日勤帯は婦人科診療や不妊治療に専従しているが、当直等では分娩にも従事する産婦人科医が該当します。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	0人	0人	0人	
常勤の研修医・レジデントの数	0人	0人	0人	
非常勤医師	0人	0人	0人	
【新生児部門の医師数】	新生児科の専任医師	新生児科の専任ではないが、NICUでの診療にも従事する小児科医		※常勤・非常勤については、正規雇用か否かといった雇用形態を問わず、病院で定められた医師の勤務時間(1週間につき概ね32時間以上)を満たして就業する者を「常勤」という。
常勤医師数 (研修医・レジデントを除く)	8人	0人		※非常勤医師については、當勤換算とする。(職務に従事した非常勤医師の1週間の勤務時間合計を当該施設の通常の1週間の勤務時間で除した数)
常勤の研修医・レジデントの数	1人	0人		
非常勤医師	0人	0人		
【医師の当直体制】	産科	新生児科(NICU)		
平日の夜間	0人	1人		
土曜日の昼間	0人	1人		
土曜日の夜間	0人	1人		
日曜日の昼間	0人	1人		
日曜日の夜間	0人	1人		

周産期母子医療センターにおける合併症妊婦の対応について

A. 脳血管障害合併症(疑いを含む)の妊婦への対応について

質問事項	総合周産期母子医療センター										地域周産期母子医療センター							
	愛育	女子医	昭和	東邦 大森	日赤	帝京	日大 板橋	杏林	都立 墨東	聖路 加	慈恵	東京 医大	慶應	順天	賛育 会	女子 医東	葛飾 日赤	都立 大塚
施設内で頭部CTの検査が可能である。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設内に24時間対応可能(オンライン含む)な脳神経外科医師または神経内科医師がいる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
施設内で脳外科手術が可能である。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
施設内にICU等の集中治療病床がある。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
院内の調整がつけば、他施設からの脳血管障害合併の疑いのある妊婦の受入依頼を受けることができる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
自施設では脳血管障害合併の疑いのある妊婦の対応はしない／できない。	○														○		○	
近隣に脳血管障害合併の疑いのある妊婦に対応可能な医療機関が存在する。	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
緊急車両での搬送所要時間: 約 分	30～ 60		30	15	30		15		15		5～10			5	10		不明	15
当該医療機関と患者搬送等の連携について、文書等で取り決めてある。																		
特に文書等で定めていないが、当該医療機関と連携は確保できている。	○						○											○
近隣に対応可能な医療機関はない。											○					○		

B. 急性心疾患合併症(疑いを含む)の妊婦への対応について

質問事項	総合周産期母子医療センター										地域周産期母子医療センター							
	愛育	女子医	昭和	東邦 大森	日赤	帝京	日大 板橋	杏林	都立 墨東	聖路 加	慈恵	東京 医大	慶應	順天	賛育 会	女子 医東	葛飾 日赤	都立 大塚
施設内に24時間対応可能(オンライン含む)な循環器内科医師または心臓血管外科医師がいる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
施設内で心臓カテーテル検査・治療が可能である。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
施設内で心臓血管外科手術が可能である。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
施設内にICU等の集中治療病床がある。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
施設内の調整がつけば、他施設からの心疾患合併の疑いのある妊婦の受け入れ依頼を受けることができる。		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○
自施設では心疾患合併のある妊婦の対応はしない／できない。	○								○						○		○	
近隣に心疾患合併の疑いのある妊婦に対応可能な医療機関が存在する。	○		○	○	○		○		○		○			○	○		○	○
緊急車両での搬送所要時間: 約 分	30～ 60		30	15	30		15		15		5～10			5	10		不明	15
当該医療機関と患者搬送等の連携について、文書等で取り決めてある。																		
特に文書等で定めていないが、連携は確保できている。	○						○											○
近隣に対応可能な医療機関はない。											○					○		

C. 妊娠中の交通外傷など外傷患者への対応について

質問事項	総合周産期母子医療センター										地域周産期母子医療センター							
	愛育	女子医	昭和	東邦 大森	日赤	市立 京	日大 板橋	杏林	都立 墨東	聖路 加	慈恵	東京 医大	慶應	順天	賛育 会	女子 医東	葛飾 日赤	都立 大塚
施設内に24時間対応可能(オンライン含む)な外傷を診ることのできる医師がいる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
施設内に救命救急医がいる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
施設内で外傷時に必要な検査や処置ができる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
施設内で緊急手術が可能である。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設内にICU等の集中治療病床がある。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
施設内の調整がつけば、他施設からの妊娠中の外傷患者の受入依頼を受けることができる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自施設では妊娠中の外傷患者の対応はしない／できない。	○														○		○	
近隣に妊娠中の外傷患者に対応可能な医療機関が存在する。	○		○	○	○		○		○		○		○	○	○		○	○
緊急車両での搬送所要時間:約分	30~60		30	15	10		15		15		5~10			5	10		不明	15
当該医療機関と患者搬送等の連携について、文書等で取り決めてある。																		
特に文書等で定めていないが、連携は確保できている。	○						○											○
近隣に対応可能な医療機関はない。											○				○			

E. 周産期救急情報システム／救急医療情報システムについて

質問事項	総合周産期母子医療センター										地域周産期母子医療センター									
	愛育	女子医	昭和	東邦 大森	日赤	帝京	日大 板橋	杏林	都立 墨東	聖路 加	慈恵	東京 医大	慶應	順天	賛育 会	女子 医東	葛飾 日赤	都立 大塚	武藏野 日赤	
(1)重症の脳血管疾患、循環器疾患、外傷等を合併(疑いも含む)した妊婦の救急搬送の依頼を受けるとき、																				
周産期救急情報システムを経由する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
救急医療情報システムを経由する					○	○	○	○			○	○	○	○						○
どちらも経由せず、患者／施設／救急隊から直接連絡を受ける。						○		○		○	○									○
その他	※1					※2			※3	※4						※5	※6			
(2)受入に当たっては																				
産科部門が受入れを判断	○									○										
当該部門が受入れを判断																				
両者で協議の上判断		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 上記の全身管理は行えないことを話し、他院へ搬送してもらう。

※2 依頼側の都合による。母体側の救命治療が優先される場合は、当院としては救急医療システム経由を希望する。

※3 妊娠週数により胎児の重要度が違うため、両方有り得る。

※4 周産期救急情報システムはタイムリーに情報更新されないことが多いため、病院や救急隊から直接連絡を受けることが多い。

※5 上記のいずれの依頼もあるが、個々に機能しているため、産科への連絡なく、救命救急センターに搬送されることがたまにあります。そのため、産科医が緊急救手術中などの理由で対応できないことがあります。妊娠褥婦の搬送にあたっては、救急医療情報システムと周産期救急情報システムとの密接な連携が必須である。

※6 当院は総合病院でないため、全く受け入れができません。

平成20年11月27日
病院経営本部

墨東病院周産期センターにおける12月及び年末年始の当直体制について

墨東病院では、総合周産期母子医療センターの確実な体制を確保するため、12月及び年末年始については、以下の当直体制で対応しますので、お知らせします。

今後も、関係局、地元医師会、関係機関等と協議を続け、体制の充実に取り組んでいきます。

【12月及び年末年始の当直体制】

産科医師の当直について、平成20年12月1日（月曜日）から平成21年1月4日（日曜日）までのすべての日程につき（夜間、土曜日、日曜日、祝日を含む）、2人体制とします。

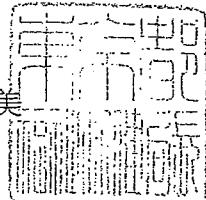
(問い合わせ先)

病院経営本部経営企画部総務課 谷田・戸田
直通 03-5320-5828・5805
内線 50-102・50-130

20福保医救第714号
平成20年11月25日

周産期母子医療センター
設置医療機関管理者 殿

東京都福祉保健局長
安藤立美



周産期母子医療センターにおける救急搬送患者の円滑な受入れについて

平素より東京都の周産期医療体制の充実に御尽力いただき深く感謝申し上げます。

総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターは、「東京都周産期母子医療センター設置・運営要綱」(平成9年9月25日付9衛健母第823号)により地域の周産期医療機関あるいは消防機関からの患者の受入要請に連携して対応することとなっており、貴院におかれましても、妊産婦や新生児の受入れに日夜御努力いただいているところです。

先般、都内において脳出血の妊婦の緊急搬送に関して複数の医療機関で受入対応ができない事例が連続して発生しました。

これを受け、東京都においては今月5日に東京都周産期医療協議会を開催して、課題や対応策の検討を進めており、地域内で患者を確実に受け入れる体制や地域間の支援体制、周産期医療と救急医療との連携、患者情報の正確な伝達等の課題に対して、早急に改善策に取り組んでいるところです。

なお、今回の一連の事案は、重篤な合併症を伴う母体の救命に当たっては、周産期母子医療センターによる産科及び新生児医療だけでなく、病院内の救急部門をはじめ、脳神経外科、麻酔科など複数の診療科が連携して対応する必要性を示したものです。

つきましては、貴院におかれましても、今一度、妊産婦の緊急搬送の受入体制について点検いただき、院内各部門の連携による患者の円滑な受入れについて、一層の御尽力をお願いいたします。

[問い合わせ先]
東京都福祉保健局救急災害医療課
電話 03-5320-4378
FAX 03-5388-1441